

がんゲノム医療中核拠点病院等の整備に関する指針（抄）

I がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院の指定について

- 5 国立研究開発法人国立がん研究センターの「がんゲノム情報管理センター」（以下「がんゲノム情報管理センター」という。）とがんゲノム医療中核拠点病院は協働でがんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議（以下、「連絡会議」という。）を設置し、がんゲノム医療の推進のために以下の（１）～（５）に掲げる事項を協議すること。

- （１）がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院におけるがんゲノム医療に係る取組の進捗状況
- （２）がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院の運営に係る課題とその対応
- （３）がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院とがんゲノム情報管理センターの連携・協働に係る課題とその対応
- （４）がんゲノム医療の充実に係る課題とその対応
- （５）その他目的を達成するために必要な事項

II がんゲノム医療中核拠点病院の指定要件について

4 連携体制・人材育成

がんゲノム医療拠点病院及びがんゲノム医療連携病院等との連携・人材育成について、以下の要件を満たすこと。

- （１）がんゲノム医療拠点病院と連携し、地域におけるがんゲノム医療提供体制を充実させるための各種調整、人材育成などに取り組むこと。また、連携するがんゲノム医療連携病院及び地域を代表して連絡会議に出席すること。

## がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議規約改正案のポイント

### 第1条

- ・健康局長通知（以下、通知）を根拠に設置した会議体として規定する。
- ・通知の内容に合わせて記載内容を改正する。

### 第2条

- ・通知の内容に合わせて記載内容を改正する。

### 第3条第1項

- ・厚生労働省大臣官房審議官（がん対策担当）は現在、当該役職が存在しないこと、これまでの連絡会議の出席状況（実際の参加者は担当者）を考慮して、健康局がん・疾病対策課長に改正する。なお、厚生労働省の事前了解済みである。

### 第3条第2項（旧規定）

- ・中核拠点は連絡会議への参加が通知で義務付けられている。連絡会議参加への意思確認不要のため、旧規約の規定を削除する。

### 第3条第8項

- ・略称を規定に反映する（記載整備）。

### 施行日

- ・令和5年4月1日から施行する。

以上

| 新   | 旧  |
|---|--|
| <p style="text-align: center;">がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議規約</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議(以下「連絡会議」という。)は、「がんゲノム医療中核拠点病院等の整備について」(令和4年8月1日健発0801第18号厚生労働省健康局長通知)の規定に基づき、厚生労働大臣が指定したがんゲノム医療中核拠点病院(以下「中核病院」という。)と、<u>国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター</u>(以下「情報センター」という。)が協働して、がんゲノム医療に関する診療、研究・治験の実施、新薬等の研究開発、がんゲノム情報レポジトリの構築等の取組の推進に向けて相互に連携を図り、がんゲノム医療の健全な発展と円滑な運営に資することを目的とする。</p> <p>(協議事項)</p> <p>第2条 連絡会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 <u>中核病院及び厚生労働大臣が指定したがんゲノム医療拠点病院</u>(以下「拠点病院」という。)におけるがんゲノム医療に係る取組の進捗状況</li> <li>二 中核病院<u>及び拠点病院</u>の運営に係る課題とその対応</li> <li>三 中核病院<u>及び拠点病院</u>と情報センターの連携・協働に係る課題とその対応</li> <li>四 がんゲノム医療の充実に係る課題とその対応</li> <li>五 その他目的を達成するために必要な事項</li> </ul> | <p style="text-align: center;">がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議規約</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議(以下「連絡会議」という。)は、「がんゲノム医療中核拠点病院等の整備について」(平成29年12月25日健発1225第3号厚生労働省健康局長通知)の規定に基づき厚生労働大臣が指定したがんゲノム医療中核拠点病院(以下「中核病院」という。)と、<u>厚生労働省が国立がん研究センターに設置したがんゲノム情報管理センター</u>(以下「情報センター」という。)が、がんゲノム医療に関する診療、研究・治験の実施、新薬等の研究開発、がんゲノム情報レポジトリの構築等の取組の推進に向けて相互に連携を図り、がんゲノム医療の健全な発展と円滑な運営に資することを目的とする。</p> <p>(協議事項)</p> <p>第2条 連絡会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 <u>各中核病院</u>におけるがんゲノム医療に係る取組の進捗状況</li> <li>二 中核病院の運営に係る課題とその対応</li> <li>三 中核病院と情報センターの連携・協働に係る課題とその対応</li> <li>四 がんゲノム医療の充実に係る課題とその対応</li> <li>五 その他目的を達成するために必要な事項</li> </ul> |

|   |   |
|---|---|
| <p>2 前項各号の協議を効率的に進めるため、部会を別に設置することができる。部会に必要な事項は別に定める。</p> <p>(組織)</p> <p>第3条 連絡会議の構成員は中核病院の管理者と情報センター長とし、<u>厚生労働省健康局がん・疾病対策課長</u>をオブザーバーとする。</p> <p><u>2 (削る。)</u></p> <p><u>2</u> 連絡会議に議長及び副議長を置く。</p> <p><u>3</u> 議長は、中核病院の管理者のうちから構成員の互選により選出され、会務を統括する。</p> <p><u>4</u> 副議長は、構成員のうちから議長により指名され、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。</p> <p><u>5</u> 議長及び副議長の任期は2年とする。</p> <p><u>6</u> 議長及び副議長は再任されることができる。</p> <p><u>7</u> 構成員が指名する者は、オブザーバーとして参加することができる。</p> <p><u>8</u> <u>拠点病院の代表者</u>は、オブザーバーとして参加することができる。</p> <p>(招集)</p> <p>第4条 連絡会議は、議長が招集する。</p> <p>2 連絡会議は必要に応じて、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。</p> <p>3 連絡会議は、構成員の過半数の出席で成立し、出席した構成員の過半数で議事が決せられる。可否同数のときは、議長の決するところによる。</p> <p>4 構成員が出席できない場合、議長の認めるところにより、代理</p> | <p>2 前項各号の協議を効率的に進めるため、部会を別に設置することができる。部会に必要な事項は別に定める。</p> <p>(組織)</p> <p>第3条 連絡会議の構成員は中核病院の管理者と情報センター長とし、<u>厚生労働省大臣官房審議官(がん対策担当)</u>をオブザーバーとする。</p> <p><u>2 連絡会議設置後、新たに厚生労働大臣が中核病院を指定した場合は、当該機関の連絡会議への参加の意思を確認し、連絡会議の構成に加えるものとする。</u></p> <p><u>3</u> 連絡会議に議長及び副議長を置く。</p> <p><u>4</u> 議長は、中核病院の管理者のうちから構成員の互選により選出され、会務を統括する。</p> <p><u>5</u> 副議長は、構成員のうちから議長により指名され、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。</p> <p><u>6</u> 議長及び副議長の任期は2年とする。</p> <p><u>7</u> 議長及び副議長は再任されることができる。</p> <p><u>8</u> 構成員が指名する者は、オブザーバーとして参加することができる。</p> <p><u>9</u> <u>がんゲノム医療拠点病院の代表者</u>は、オブザーバーとして参加することができる。</p> <p>(招集)</p> <p>第4条 連絡会議は、議長が招集する。</p> <p>2 連絡会議は必要に応じて、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。</p> <p>3 連絡会議は、構成員の過半数の出席で成立し、出席した構成員の過半数で議事が決せられる。可否同数のときは、議長の決するところによる。</p> <p>4 構成員が出席できない場合、議長の認めるところにより、代理</p> |
|---|---|

|   |   |
|---|---|
| <p>の出席ができるものとする。</p> <p>(事務局)</p> <p>第5条 連絡会議事務局は、情報センターに置く。事務局は、各中核病院と厚生労働省等の関係機関の協力を得て、連絡会議の庶務を行う。</p> <p>(規約の改正)</p> <p>第6条 この規約の改正は、構成員総数の3分の2以上の賛成を必要とする。</p> <p>(連絡会議の運営)</p> <p>第7条 この規約に定めるもののほか、議事の手続その他連絡会議の運営に関し必要な事項は、議長が連絡会議に諮って定める。</p> <p><u>(施行期日)</u></p> <p><u>附則 この規約は、令和5年4月1日から施行する。</u></p> | <p>の出席ができるものとする。</p> <p>(事務局)</p> <p>第5条 連絡会議事務局は、情報センターに置く。事務局は、各中核病院と厚生労働省等の関係機関の協力を得て、連絡会議の庶務を行う。</p> <p>(規約の改正)</p> <p>第6条 この規約の改正は、構成員総数の3分の2以上の賛成を必要とする。</p> <p>(連絡会議の運営)</p> <p>第7条 この規約に定めるもののほか、議事の手続その他連絡会議の運営に関し必要な事項は、議長が連絡会議に諮って定める。</p> |
|---|---|

## がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議規約（改正案）

### （目的）

第1条 がんゲノム医療中核拠点病院等連絡会議（以下「連絡会議」という。）は、「がんゲノム医療中核拠点病院等の整備について」（令和4年8月1日健発0801第18号厚生労働省健康局長通知）の規定に基づき、厚生労働大臣が指定したがんゲノム医療中核拠点病院（以下「中核病院」という。）と、国立がん研究センターがんゲノム情報管理センター（以下「情報センター」という。）が協働して、がんゲノム医療に関する診療、研究・治験の実施、新薬等の研究開発、がんゲノム情報レポジトリの構築等の取組の推進に向けて相互に連携を図り、がんゲノム医療の健全な発展と円滑な運営に資することを目的とする。

### （協議事項）

第2条 連絡会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を協議する。

- 一 中核病院及び厚生労働大臣が指定したがんゲノム医療拠点病院（以下「拠点病院」という。）におけるがんゲノム医療に係る取組の進捗状況
- 二 中核病院及び拠点病院の運営に係る課題とその対応
- 三 中核病院及び拠点病院と情報センターの連携・協働に係る課題とその対応
- 四 がんゲノム医療の充実に係る課題とその対応
- 五 その他目的を達成するために必要な事項

2 前項各号の協議を効率的に進めるため、部会を別に設置することができる。部会に必要な事項は別に定める。

### （組織）

第3条 連絡会議の構成員は中核病院の管理者と情報センター長とし、厚生労働省健康局がん・疾病対策課長をオブザーバーとする。

- 2 連絡会議に議長及び副議長を置く。
- 3 議長は、中核病院の管理者のうちから構成員の互選により選出され、会務を統括する。
- 4 副議長は、構成員のうちから議長により指名され、議長を補佐し、議長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 5 議長及び副議長の任期は2年とする。
- 6 議長及び副議長は再任されることができる。

7 構成員が指名する者は、オブザーバーとして参加することができる。

8 拠点病院の代表者は、オブザーバーとして参加することができる。

(招集)

第4条 連絡会議は、議長が招集する。

2 連絡会議は必要に応じて、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

3 連絡会議は、構成員の過半数の出席で成立し、出席した構成員の過半数で議事が決せられる。可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 構成員が出席できない場合、議長の認めるところにより、代理の出席ができるものとする。

(事務局)

第5条 連絡会議事務局は、情報センターに置く。事務局は、各中核病院と厚生労働省等の関係機関の協力を得て、連絡会議の庶務を行う。

(規約の改正)

第6条 この規約の改正は、構成員総数の3分の2以上の賛成を必要とする。

(連絡会議の運営)

第7条 この規約に定めるもののほか、議事の手続その他連絡会議の運営に関し必要な事項は、議長が連絡会議に諮って定める。

(施行期日)

附則 この規約は、平成30年5月1日から施行する。

(施行期日)

附則 この規約は、平成31年2月25日から施行する。

(施行期日)

附則 この規約は、令和元年11月27日から施行する。

(施行期日)

附則 この規約は、令和5年4月1日から施行する。